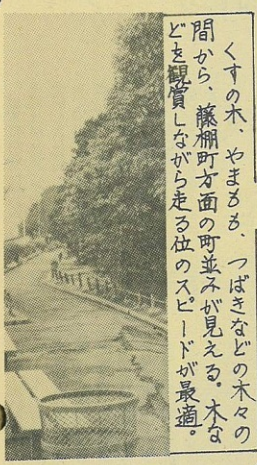
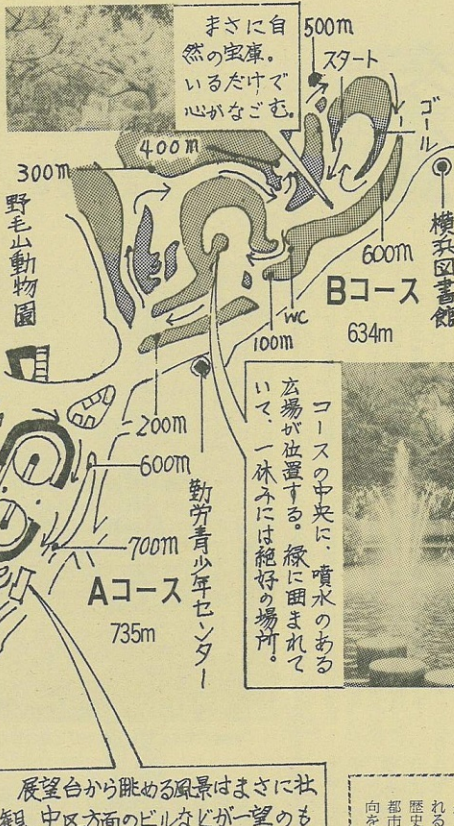
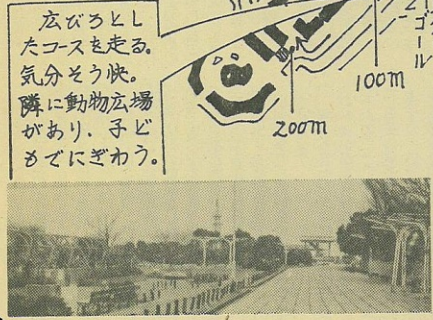


自然の中でジョギング!!

野毛山公園にトリムコース完成



くすの木、やまもも、つばきなどの木々の間から、藤瀬町方面の町並みが見える。木々を眺めながら走る位のスピードが最適。



広びろとしたコースを走る。気分そう快。隣に動物広場があり、子どもでにぎわう。

展望台から眺める風景はまさに壮観。中区方面のビルなどが一望のもとに見わたせる。この展望台は、3階まであり、2階には、ちょっとしたテーブルがあるので、親子で運動した後、お弁当を広げるのもいい。

厳しい寒さの冬が去り、カエルが冬眠から目覚め、草木が新芽をふき出す春がきました。何もかもがいつせいに活動を始める季節です。私たち人間も、固くなった体を動かさなくてはなりません。でも、いきなり過激な運動は禁物。じょうずに体をならしたいものです。それには、ジョギングが一番。区内にまた、一カ所ジョギングのできるトリムコースが完成しました。Aコース全長七百三十五メートル、Bコース全長六百三十四メートルの二つのコースが野毛山公園にできました(左図参照)。ここは緑の名所であるとともに、展望台あり、動物広場あり、多々の緑に囲まれて、自然がいっぱいの中でジョギングは、想像するだけで体がほぐれ、さわやかな気分になります。

西 区 版

西区役所

中央 1-5-10
〒220-322-1212

区人口 80,282
世帯数 28,776
(2月1日現在)

まじか

平沼・二百・昔、神が浦の海濱、平沼を記す平沼新田まつり、その歴史が町となる。昭和十一年住居表示の際、二百区を設けた。

都心臨海部総合整備計画に期待

二月二十八日(土)午後、西区民会議が開催されました。当日は、区民に最も関心があつた、当区の将来の町づくりの大きな影響が予想される「都心臨海部総合整備計画」をテーマにのべられた。この計画は、昭和五十八年三月末までに移転完了予定の三菱下ツク跡地を中心とする地域一帯百七十八ヘクタールに、人間の魅力あふれる都心を生かす、国際文化都市、先進技術都市としての方向をめざし新たな都心の核に育てていくという案です。

これに対し、臨海部に都心ができると、既成市街地は益々さびれてしまう。臨海部と既成市街地の交流を図るため、臨海部となる、万里の長城(高島町)・桜木町間鉄道高架を「地下化する」。「改造して多くの連絡路を設ける」「掃部山から陸橋をつなぐ」とか「避難場所の確保」「人口密度の高い西区に今以上の居住人口は不要」逆に「人口の減少は町の疲弊につながるか、ふやせばきた」「日本丸を横浜港に誘導し保存する」など多くの意見要望が出されました。こうした、多くの方の意見をふまえ、西区の発展につながる計画に今後期待しています。



飛び出しはあなただけ

春の交通安全運動

入学シーズンがやってきました。ランドセル、くつ入れなどの学用品は、もう用意しましたが、新入児童童のいる家庭では、楽しい中になかなかあわただしいでしょう。しかし、この時期に、なんどかでも心配なのが交通安全です。朝は集団登校で、上級生が面倒をみてくれるので心配はあまりありませんが、帰りはハラハラに帰るので、いつかで交通事故にあうかわからないという危険性があります。交通安全は、いかに注意しても、しつこくいっていてもはかみません。通学路を子どもだけで

つしよは歩き、危険な場所をチェックし正確に歩幅をきつて歩くこと、次に、交通ルール。信号青になつたら横断するという基本的なルールも確認。私たちが大人がたりまえと思つていて、子どもに伝わらないこと、あたりまえではないこと、あります。例えば、ポールが道路に転がっていった場合、追うのを夢中になり、ポール以外には目を注がない。その結果、道路に飛びだし自動車にはねられるというつてになつてしまつています。飛び出すとあんなに、親は十分に教えていた

だ、なにもありません。子どもに、(〇)と(×)について、自動車を運転する人たちに聞いてお預けします。子どもは、まったく予想つかない行動をします。スクールゾーンではない、ついでに飛び出すてきて、すべとまれるように横断する。くらのへんは、はりがほしいものです。安全運転を心がけてください。

四月六日(月)から十五日(水)まで、春の交通安全運動が行なわれます。この運動にあわせ、区内では四月十一日(土)、西公会交通安全総会、み通運動推進大会が、十八日(土)、西前小学校家庭で西区交通安全五十周年記念大会が午後一時から四時、行なわれます。